

我家の風景

安藤 輝江

ニュージーランド在住 助産婦

英語が大の苦手だった私が、国際結婚をして、英語を母国語とする国で生活をしているのだから、人生は本当に意外な展開をするものだ。

助産婦学校の卒業旅行に、と友人達に誘われるまま、私は初めて海外へ出かけた。行った先は、中国大陸！ とにかく、カルチャーショックであった。この世のものとは思えない景色や、そこで生活する人々。すべてが驚きの連続であった。すっかり海外旅行に魅了された私は、休暇のたびに海外へ飛んだ。そして、短期の旅に飽き足りなくなった私は、遂に退職し長期の旅へ出発したのであった。東南アジアを回り、オーストラリア、ニュージーランド(以下NZと記す)へと旅を進めた。NZは夏の3か月間だけ滞在する計画であったが、自然の美しさと優しさにとっても感動し、滞在を延長する事にした。そして、その結果、我が夫と出会ってしまったのだ。

本当に、人生いつ、どこで、何が起こるかわからない。だから、人生は楽しい。

私の出産

私は、第1子・第2子とも自宅で出産した。日本を離れる時、「高齢出産なんだから、病院で産みなさいよ」と母に言われ、「はい、そうします」と答えた。しかし、NZへやって来て、大自然の懷の中で生活していると、本能が目覚めたのであろう。動物の様に1人で産める、という気がしてきた。迷いは全くなかった。そして、無事に2人は生まれたのだ。長女は、星の輝く美しい夏の夜に、分娩所要時間4時間、体重2,600gだった。

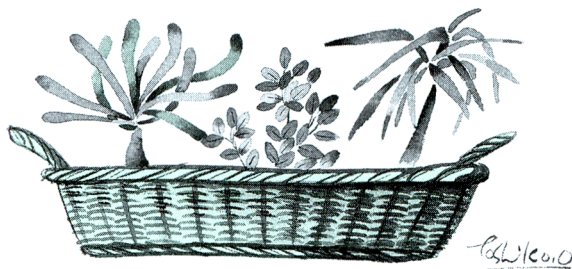
長男は、雨の降る静かな冬の夜に、分娩所要時間2時間で生まれ、体重3,200gだった。

何でも手作り

私の夫は、スコットランド人である。身長2m、体重100kgの大男だ。彼は大工でもないのに、何でも作る。ある日、私が、「庭にブランコを作って」と頼んだ。すると、いきなり大きな材木が運ばれて来た。長さ4mもある太い木の柱が5本だ。彼は地面に深さ1mの穴を掘ってゆき、そこに柱を差し込みコンクリートで固めた。3つの柱を固定し終わると、今度は大男が数人やって来て残りの2本の柱をそれらの上に持ち上げ鉄のボルトで留めた。そして、そこに大きなトラックのタイヤが1つと、2つのブランコが吊るされた。巨大ブランコの出来上がりだ。彼言わく、「大きくなっても遊べるように」だと。NZは何事もスケールが大きいのだ。彼の作品は次々と出来上がってゆく。大きなスベリ台、砂場、トランポリン、ツリーハウス、スイミングプール……。こんな手作り遊具で育つ我子は幸せだと思う。

Party! Party! Party!

NZの人達は社交的である。暇があれば、モーニングティー(午前のお茶会)、アフタヌーンティー(午後のお茶会)、バーベキューパーティー、ディナーパーティーを開く。NZに来て、「ポットラックパーティー」と言うものを知った。これは、1人1皿ずつ食物を持ち寄って開かれるパーティーの事を言う。様々な国籍の人間が集まるため、



料理もバラエティーに富んでいる。日本人とわかれば、必ず「すし」を注文される。私は日本で一度も作った事がなかったのに、今では巻きずし、にぎりずし、ちらしずし、押しずしと何でも作る。日本での私を知る人は、必ず、「信じられない！」と言う。私もこんな事ができるようになるなんて、信じられない気分である。

冬の来客

冬になると、我家には毎朝来客がある。その客は律義にも玄関のドアが開けられるまで、静かに外で待っている。今朝もやって来た。かもの夫婦だ。私はパンを投げてやる。こうやって、日に何度か食事に来るのだ。彼らはこの辺の川や池で巢作りをする。そして春になるとかわいらしい子かも達が産まれる。かもの親も色々だ。我家の玄関に、卵を産んでいなくなる親。子がもが産まれた後、失踪してしまう父親。母子を常に守り敵に立ち向う父親。常に「クワークワァー」と鳴き、子がもに自分の存在を知らせながら移動する母親。鳴き声を出さず自分の好き勝手に進んでゆく母親、子がもが親にはぐれまいと必死である。餌を与えるのが上手な親と下手な親。かもは1回に10~15羽程のひなを産む。育児能力の高い親のもとで育てられた子がもは、半数以上生き残るが、そうでない親のもとで育てられると、生き残ってもせいぜい2~3羽である。さて、今年は何組のカップルがやって来て、何羽のひなが産まれるだろう。

Welcome to my house!

私はNZの最北端ケリケリ(Keri Keri)という小さな田舎町に住んでいる。ここは有名な観光地でもあり、とても美しい所だ。

私はここに住みはじめて7年になる。一度も日本へ帰国していないし、今後もその予定はない。私は日本人との出会いを求めて、自宅を開放し民宿をはじめた。ワーキングホリデーの若者達、定年退職後に夫婦で旅をされている方々。いろいろな人達が日本各地・世界各地から尋ねて来て下さる。

ケリケリは温暖で住みやすい。土壤が肥えているため何でも良く育つ。我家で収穫できるものは、みかん・ネーブル・グレープフルーツ・レモン・もも・ネクタリン・プラム・りんご・なし・ぶどう・びわ・バナナ・グワバ・パッションフルーツ等。野菜やハーブもたくさん植えている。我家のまわりは大きな木で囲まれていて、色とりどりの花が咲き乱れている。まるで森の中で生活している様だ。もし、のんびりと異国の地で休養されたい方があったら、ぜひ我家に御滞在あれ！そしてすっかり浦島太郎になった私に、日本の事をおしえてほしい。

最後に「りれー随筆」を書かせていただいた事に変感謝している。そして、いつの日か再び誌面の皆様の前へ登場したいと密かに願っている。

皆様お元気で、See you soon!